

淀川左岸線(2期)および淀川南岸線の概要

計画の概要

淀川左岸線(2期)は、政府の「都市再生プロジェクト」に位置付けられた『大阪都市再生環状道路』の一部を構成する自動車専用道路であり、広域幹線道路ネットワークの形成や都心北部地域での交通混雑緩和などを目的とした道路です。

また、淀川南岸線は、淀川左岸線(2期)などとあわせて整備を行う地域のサービス道路であり、生活の利便性の向上や防災性の向上に重要な役割を果たす路線となります。

淀川左岸線(2期)

- ・事業者: 大阪市・阪神高速道路株式会社 (合併施行方式)
- ・事業区間: 此花区高見1丁目～北区豊崎6丁目
- ・延長・幅員: 延長約4.3km、幅員約22m
- ・道路構造: 本体(地下構造)4車線、ランプ部(掘削・高架構造)、換気所 2ヶ所

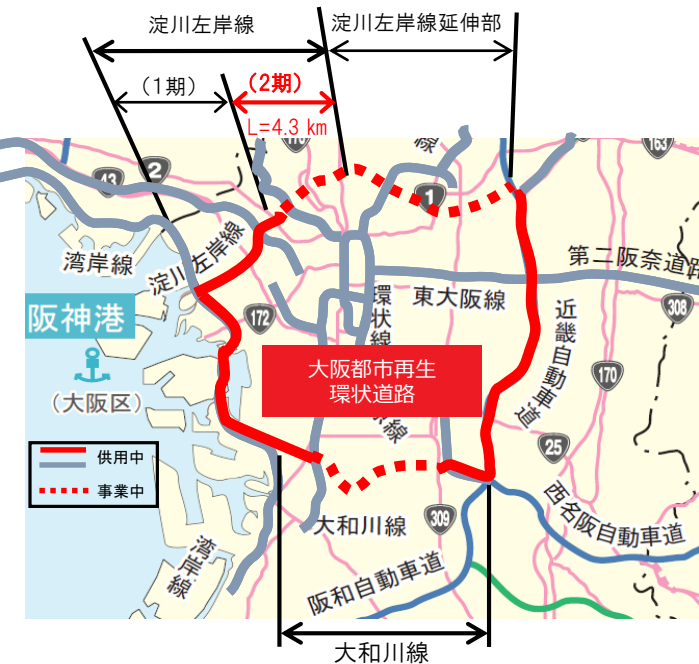
淀川南岸線

- ・事業者: 大阪市
- ・事業区間: 福島区大開4丁目～北区長柄東3丁目
- ・延長・幅員: 延長約6.9km、幅員約11～45m
- ・道路構造: 国道2号東側) 車道2車線、歩道
国道2号西側) 車道4車線、歩道

○ 淀川左岸線(2期)については平成38年度の事業完成を目指し、淀川左岸線(2期)と並行する淀川南岸線については、淀川左岸線(2期)と一体的に整備し、着実な事業進捗を図って参ります。

【大阪都市再生環状道路】

現在の大阪の高速道路は、市の中心部に位置する阪神高速道路の環状線から、放射状に周辺地域に延びるネットワークが形成されています。そのため、周辺地域から他の地域に移動するだけの“通過交通”も市の中心部に集中することから、環状線などで慢性的な交通渋滞を引き起こし、周辺環境の悪化や、社会経済活動への影響が問題となっています。こうした問題を抜本的に改善するために計画されたのが「大阪都市再生環状道路」であり、大阪市中心部の外側を取り巻く、延長約60kmの自動車専用道路です。



施設の概要

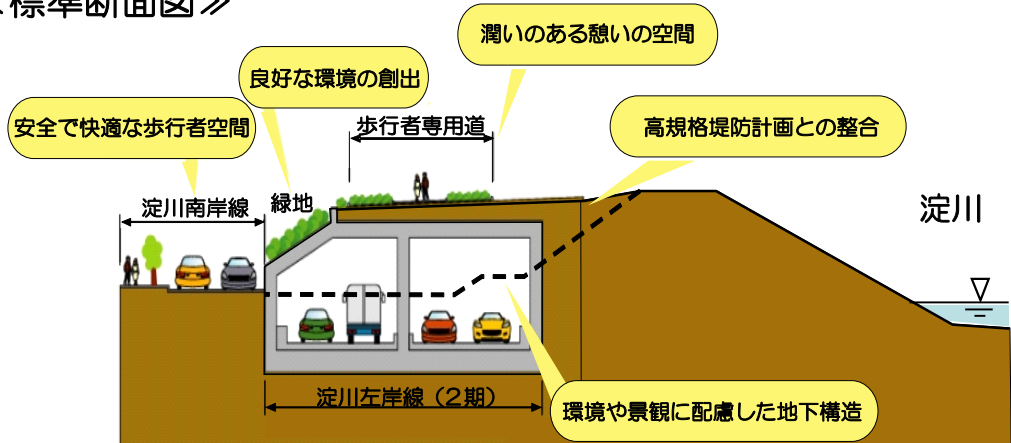
淀川左岸線(2期)は、淀川左岸線(1期)と神戸線に接続します。



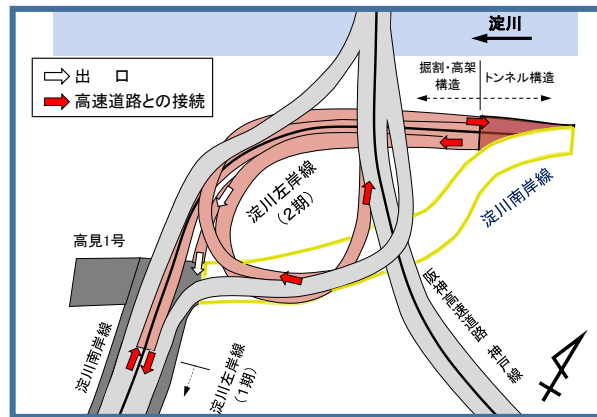
※各施設名称は仮称です。

※淀川左岸線延伸部の換気所と合築

《標準断面図》



《海老江JCT》



《豊崎出入口》

